

ヤマハ株式会社
2014年3月期
第1四半期決算説明会

2013年8月1日



2014/3期 1Q決算の概要



決算概要

- 円安環境の下、対前年同期増収増益
対前回予想(4/30発表)でも増収増益
- 世界的な成長及び消費の減速を受け、楽器販売は実質前年に届かず
- 営業利益は、為替影響、実質販売管理費の減少等により
対前年同期、前回予想共に増益を確保し、62億円の実績

* 2014年3月期の開示セグメント変更に伴い、2013年3月期の数値を新セグメントベースに組み替えて表示しております。

2014/3期 1Q業績概要



(億円)

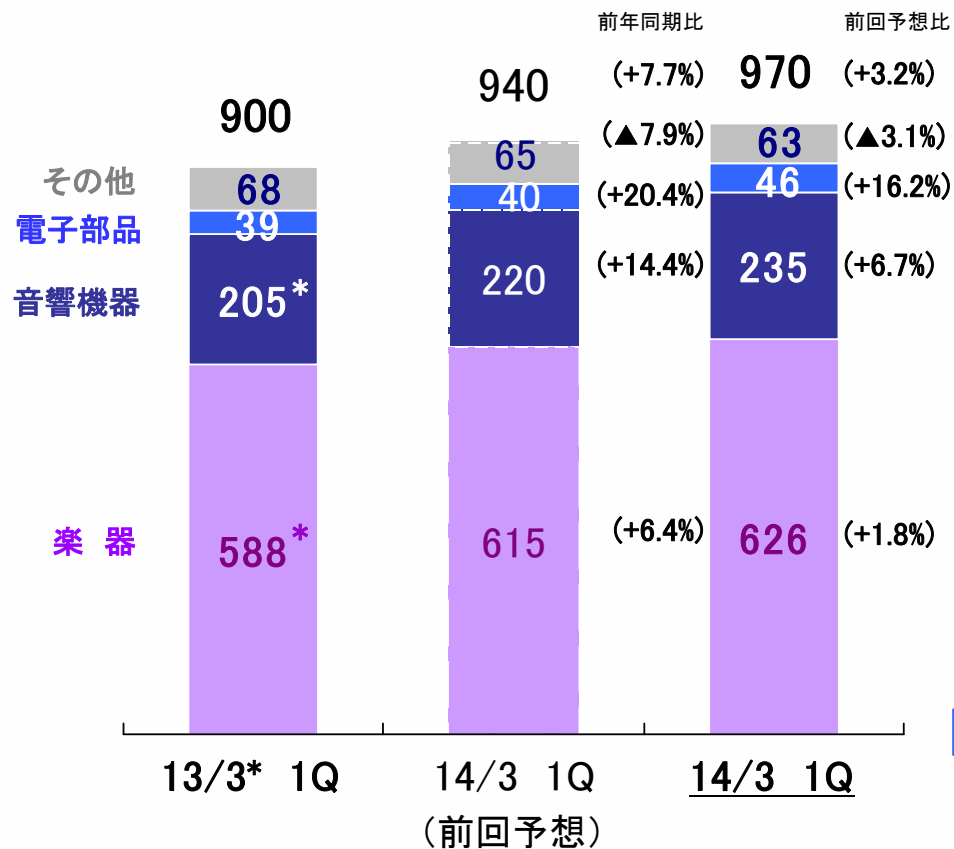
	13/3 1Q	14/3 1Q	前年同期比	前回予想	前回予想比
売上高	900	970	+7.7%	940	+3.2%
営業利益 (営業利益率)	43 (4.7%)	62 (6.4%)	+45.0%	25 (2.7%)	+146.6%
経常利益 (経常利益率)	38 (4.2%)	63 (6.5%)	+65.9%	20 (2.1%)	+214.5%
当期利益 (当期利益率)	26 (2.9%)	58 (6.0%)	+121.1%	15 (1.6%)	+287.9%

為替レート (円)

売上高	US\$	80	99	85
	EUR	103	129	115
利益	US\$	81	98	85
	EUR	106	121	115

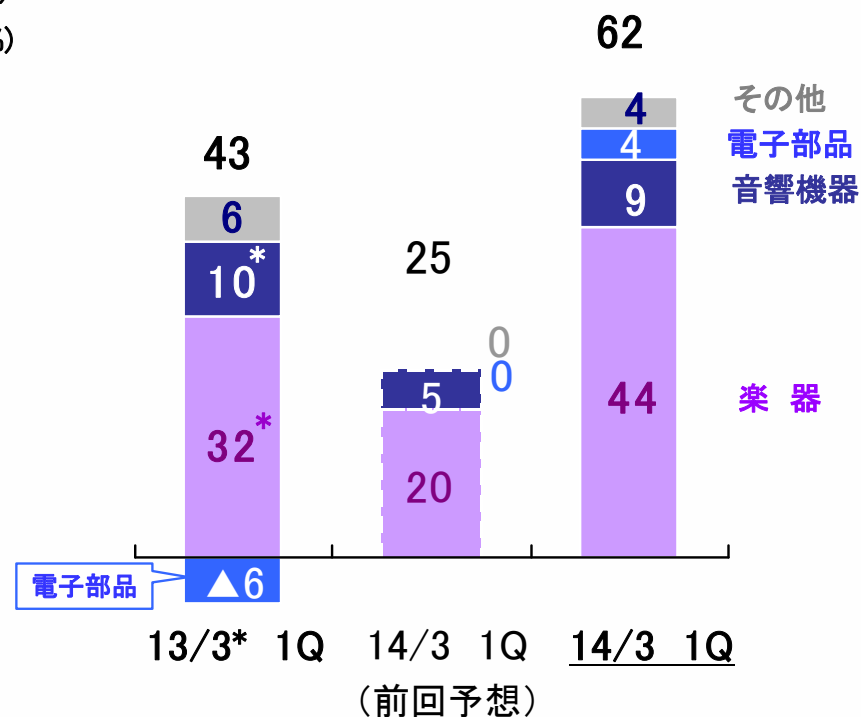
2014/3期 1Q事業別業績

売上高



営業利益

(億円)



為替影響額 (億円)	
前年同期比較	+104
前回予想比較	+68

為替影響額 (億円)	
前年同期比較	楽器 +66 音響機器 +35 電子部品 +3
前回予想比較	楽器 +44 音響機器 +22 電子部品 +2

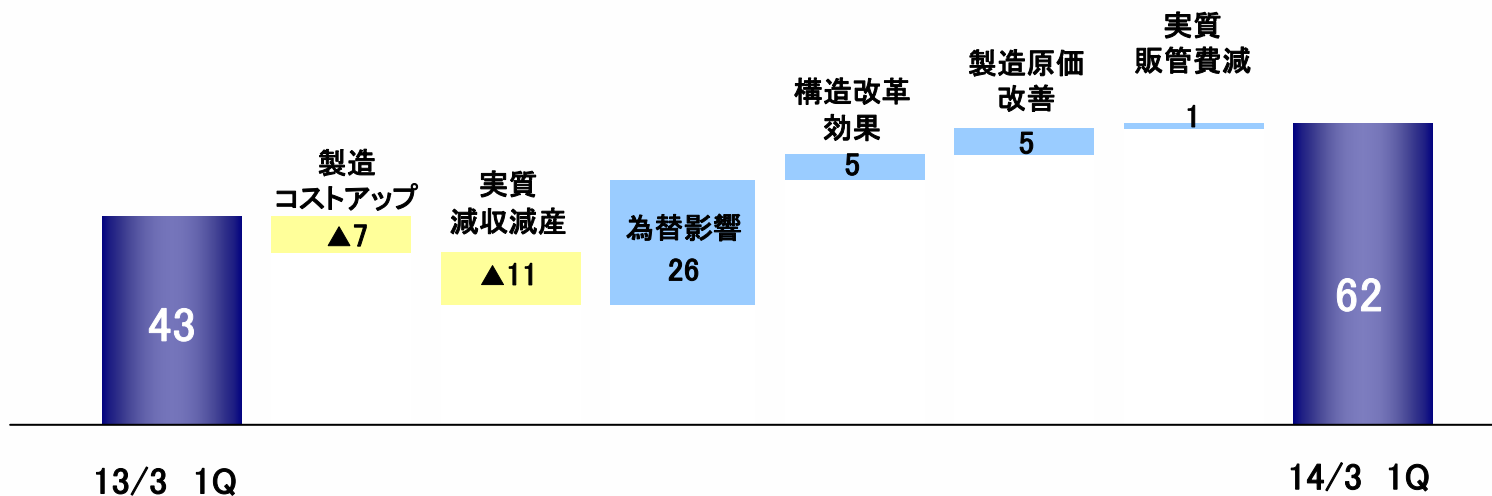
為替影響額 (億円)	
前年同期比較	+26
前回予想比較	+12

為替影響額 (億円)	
前年同期比較	楽器 +19 音響機器 +6 電子部品 +1
前回予想比較	楽器 +10 音響機器 +1 電子部品 +1

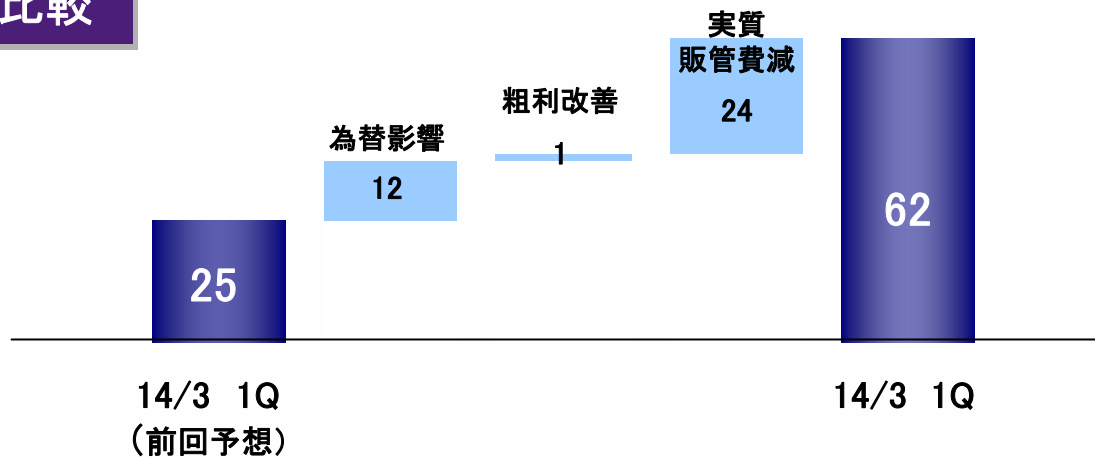
2014/3期 1Q営業利益増減要因

前年同期との比較

(億円)



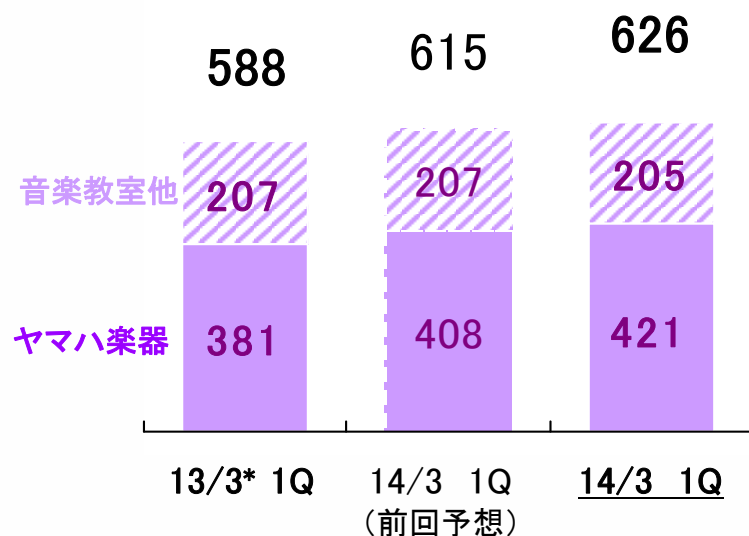
前回予想との比較



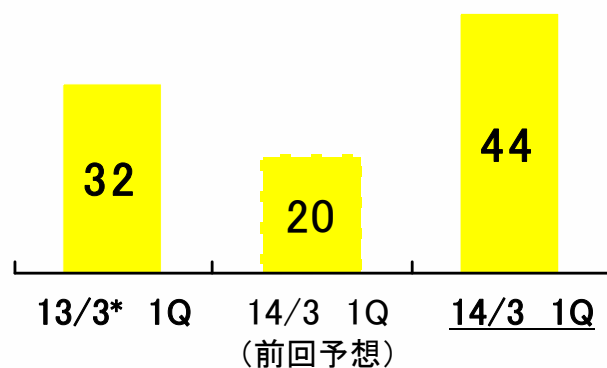
楽器事業 1Qの状況

売上高

(億円)



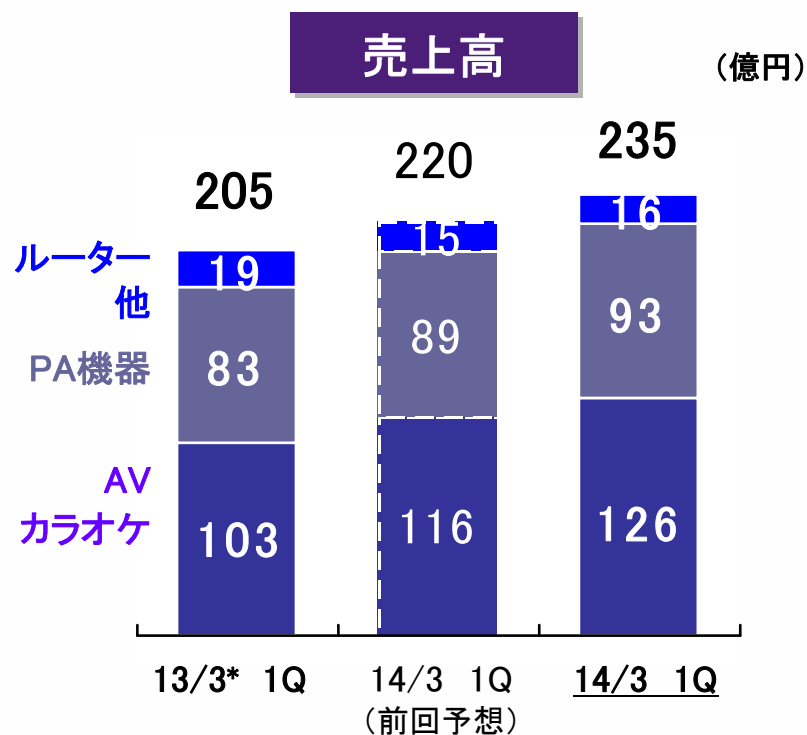
営業利益



1Qの状況

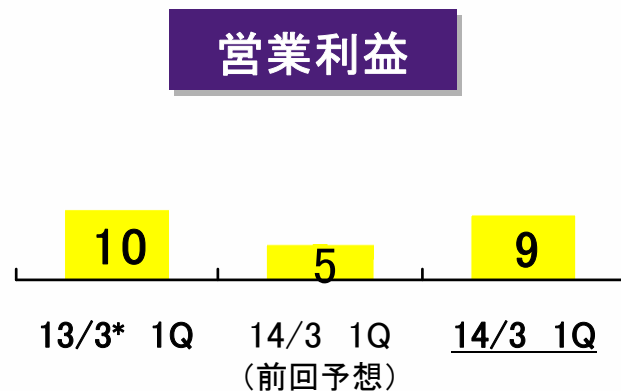
- ・対前年同期、対前回予想共に増収
- ・為替影響+66億円を除外すると対前年同期実質減収
- ・中国市場、その他の市場も実質減収
- ・商品別ではデジタルピアノが実質増収も他商品は実質減収

音響機器事業 1Qの状況



1Qの状況

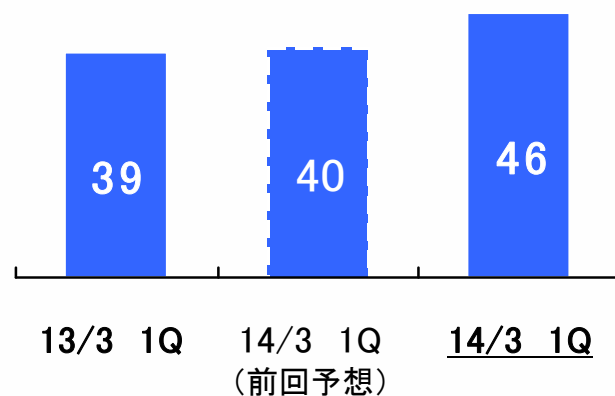
- ・対前年同期、対前回予想共に増収
- ・為替影響+35億円を除外すると対前年同期実質減収
- ・PA機器は北米、欧州、その他の市場で成長
- ・営業利益は、PA機器の開発費先行等により対前年同期減益



電子部品事業 1Qの状況

売上高

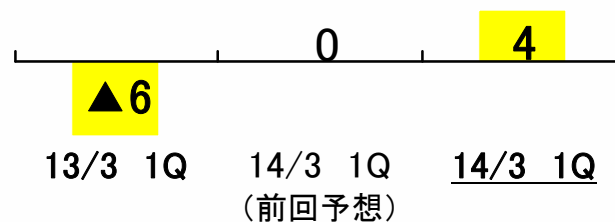
(億円)



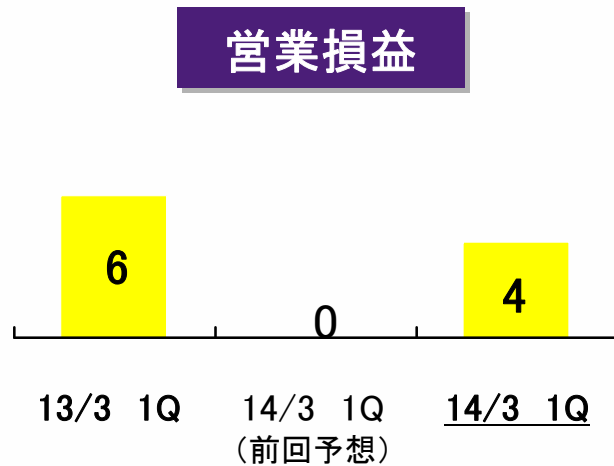
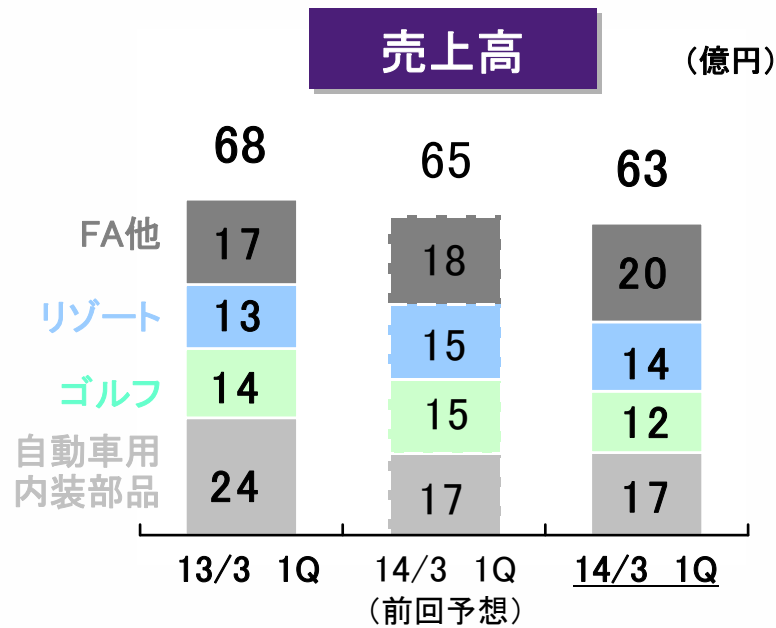
1Qの状況

- ・対前年同期、対前回予想共に増収
- ・地磁気センサー、コーデック等が堅調に推移
- ・先期実施の事業構造改革による固定費削減及び増収により損益改善し黒字化

営業損失



その他の事業 1Qの状況



1Qの状況

- ・対前年同期、減収減益
- ・自動車用内装部品は対前年同期減収、FA機器は海外市場好調で対前年同期増収
- ・ゴルフは海外市場伸長も国内振るわず対前年同期減収
- ・リゾートは対前年同期増収

2～4Qの見通し

- 中国市場の流通在庫減や新商品効果等を見込むも、楽器・音響機器の販売は期初の想定から対前期成長率を下方修正
- その他市場は、国毎に状況異なるものの、総じて厳しい状況が継続と想定
- 北米市場は緩やかに回復、欧州市場は厳しい状況下ながら電子楽器新商品などに期待

通期の業績見込み

- 2～4Qの為替前提を、ドル 95円 ユーロ 125円と見直し
- 売上高 4,080億円 営業利益 200億円と通期業績予想を修正

2014/3期 通期業績予想



(億円)

	13/3	14/3予想	前期比	前回予想	前回予想比
売上高	3,669	4,080	+11.2%	3,900	+4.6%
営業利益 (営業利益率)	92 (2.5%)	200 (4.9%)	+117.0%	180 (4.6%)	+11.1%
経常利益 (経常利益率)	86 (2.3%)	185 (4.5%)	+115.6%	165 (4.2%)	+12.1%
当期利益 (当期利益率)	41 (1.1%)	165 (4.0%)	+300.3%	135 (3.5%)	+22.2%

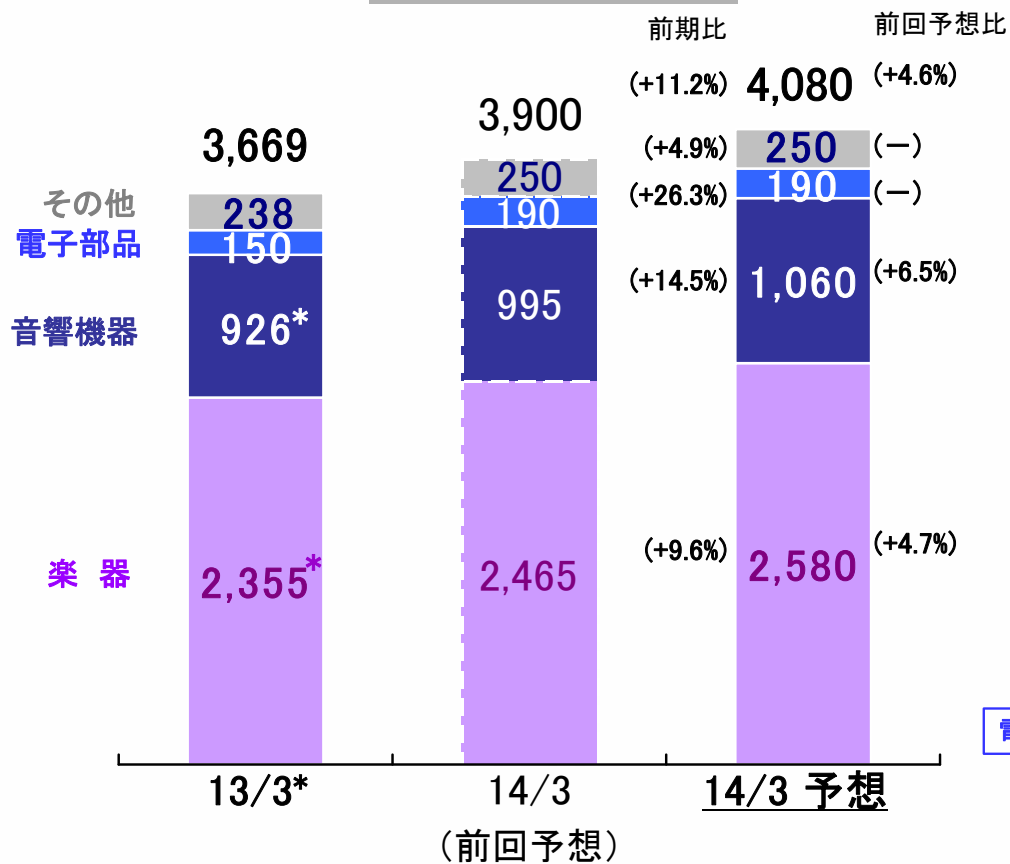
為替レート (円)

			(2~4Q)		
売上高	US\$	83	96	95	85
	EUR	107	126	125	115
利益	US\$	82	96	95	85
	EUR	103	124	125	115

2014/3期 通期事業別業績予想

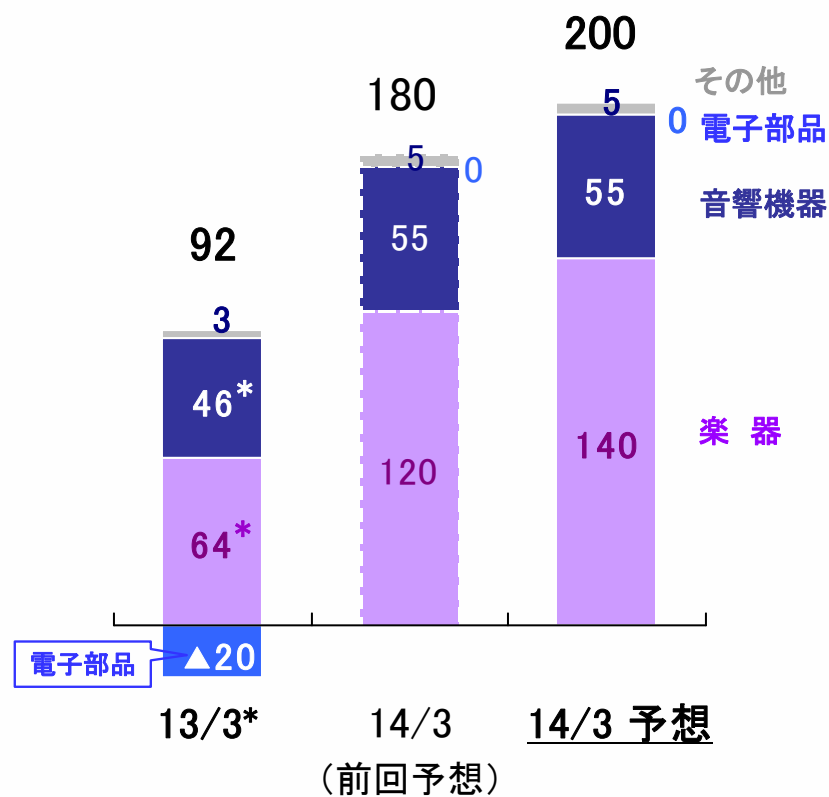


売上高



営業利益

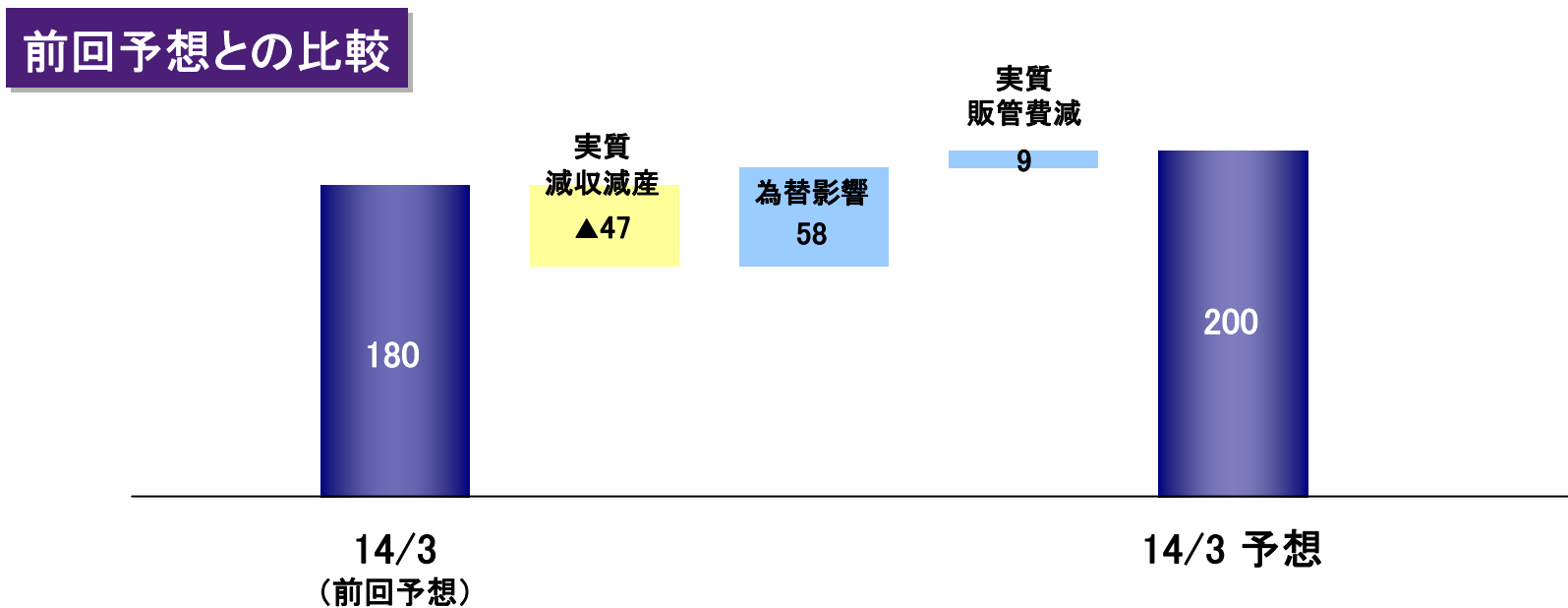
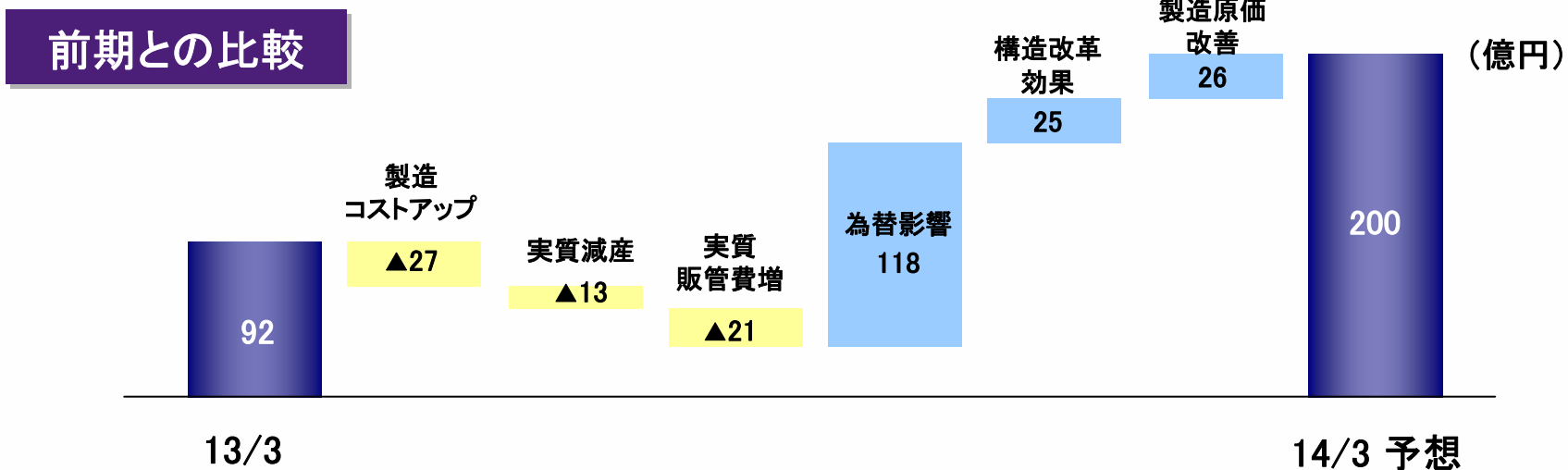
(億円)



為替影響額 (億円)		
前期比較	+346	楽器 +219 音響機器 +118 電子部品 +9
前回予想比較	+251	楽器 +160 音響機器 +84 電子部品 +7

為替影響額 (億円)		
前期比較	+118	楽器 +80 音響機器 +33 電子部品 +5
前回予想比較	+58	楽器 +42 音響機器 +12 電子部品 +4

2014/3期 営業利益予想増減要因



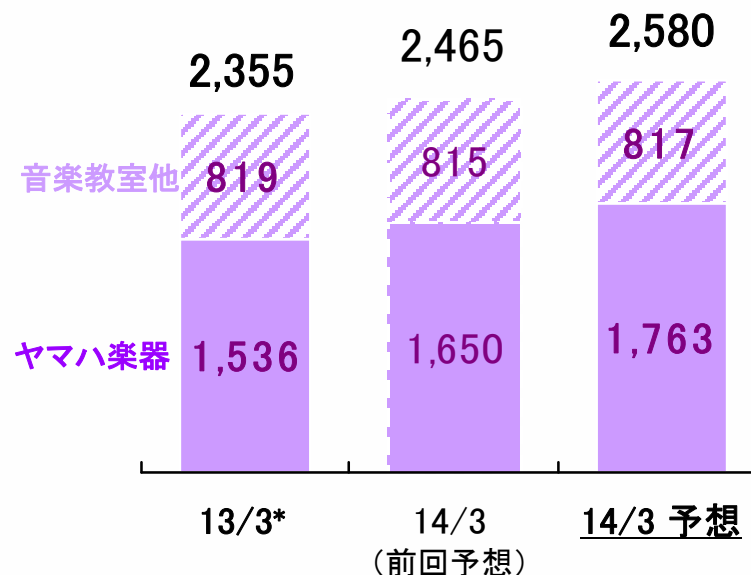
楽器事業（予想）

通期予想

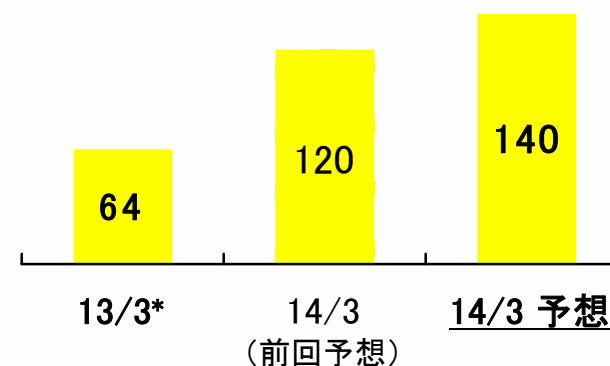
- ・為替、市況見直しによる売上・利益見込み修正
- ・欧州市場は、電子楽器新商品投入等で通期では前年並みまで回復と想定
- ・中国市場はピアノの流通在庫調整一巡等で通期では実質成長
- ・その他市場も電子楽器を中心に回復を想定

売上高

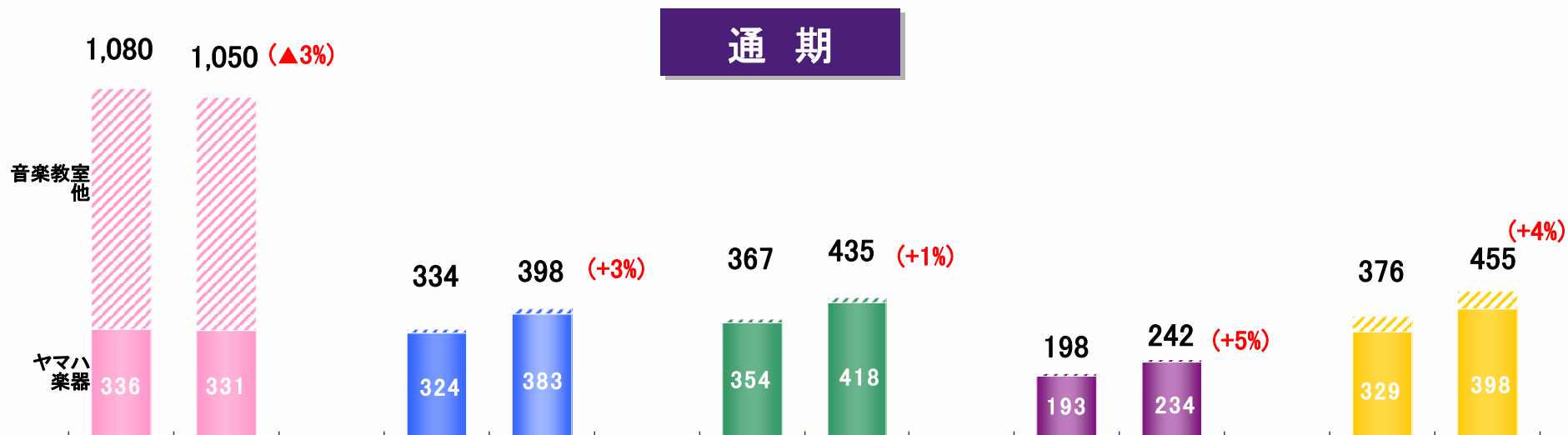
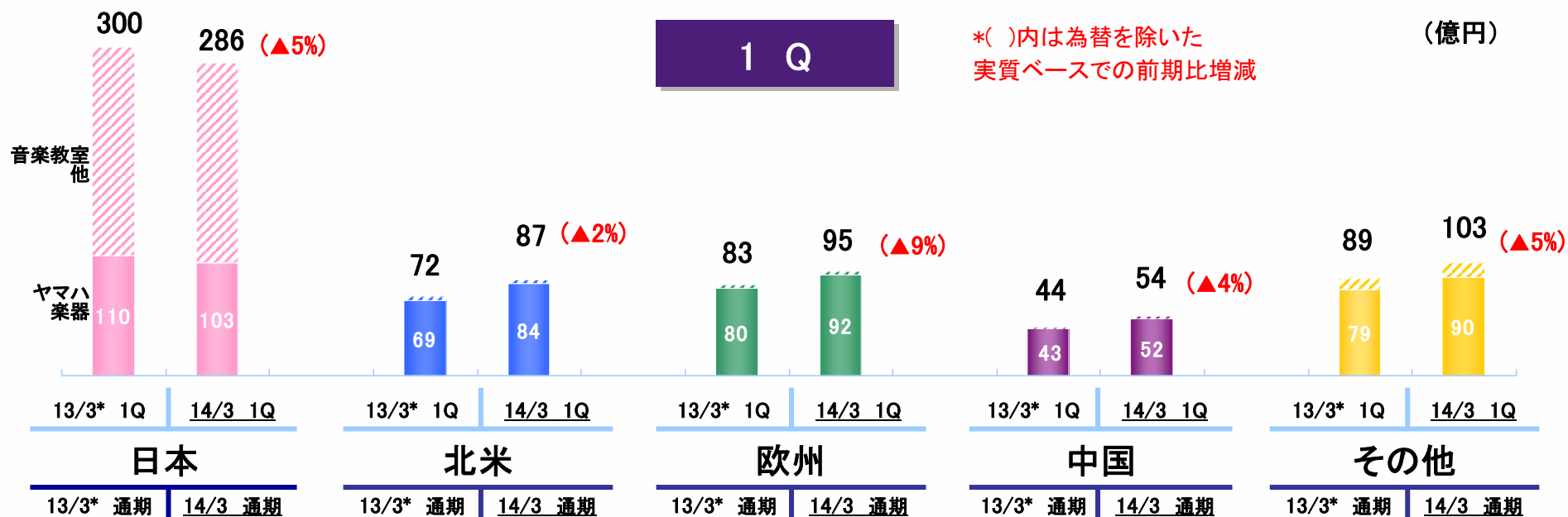
(億円)



営業利益



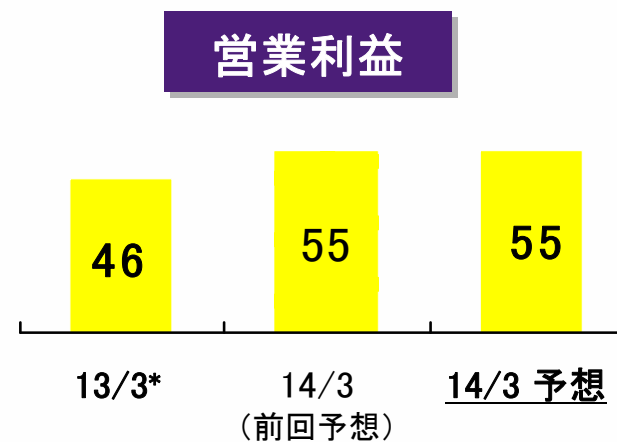
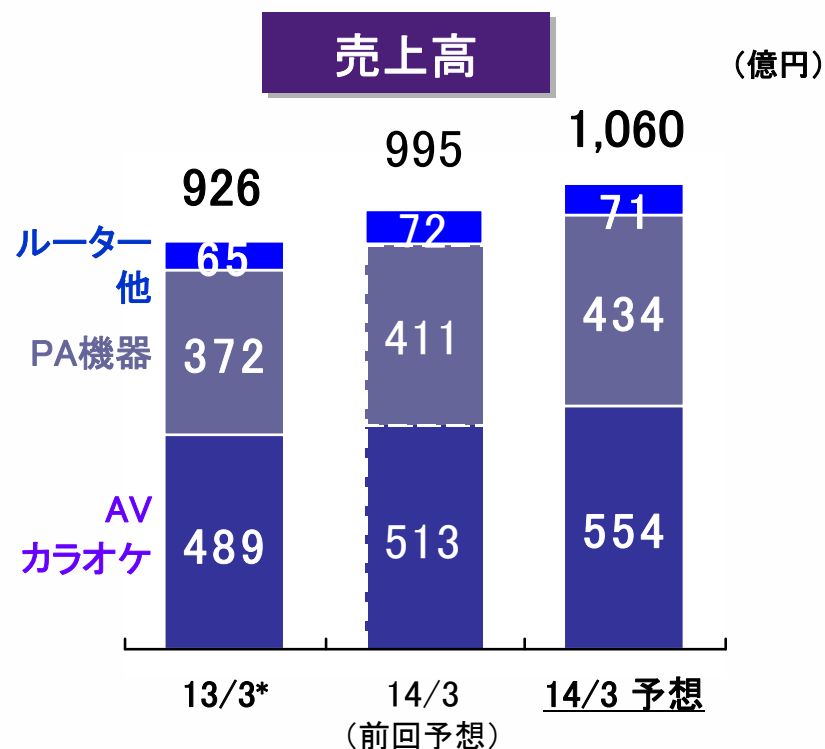
楽器事業(地域別の販売状況)



音響機器事業(予想)

通期予想

- ・対前期増収増益 損益は前回予想通り
- ・為替影響は売上高で+118億円
営業利益で+33億円の影響
- ・カラオケは1Q堅調も通期では減収
- ・ルーターは市場回復で増収



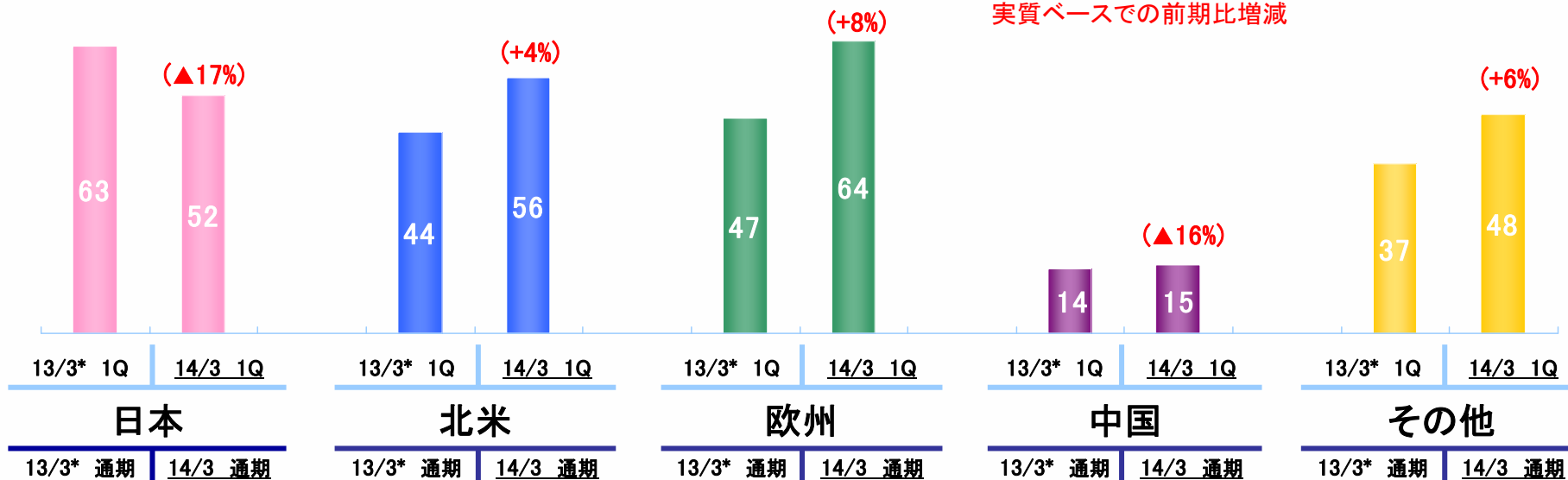
音響機器事業(地域別の販売状況)



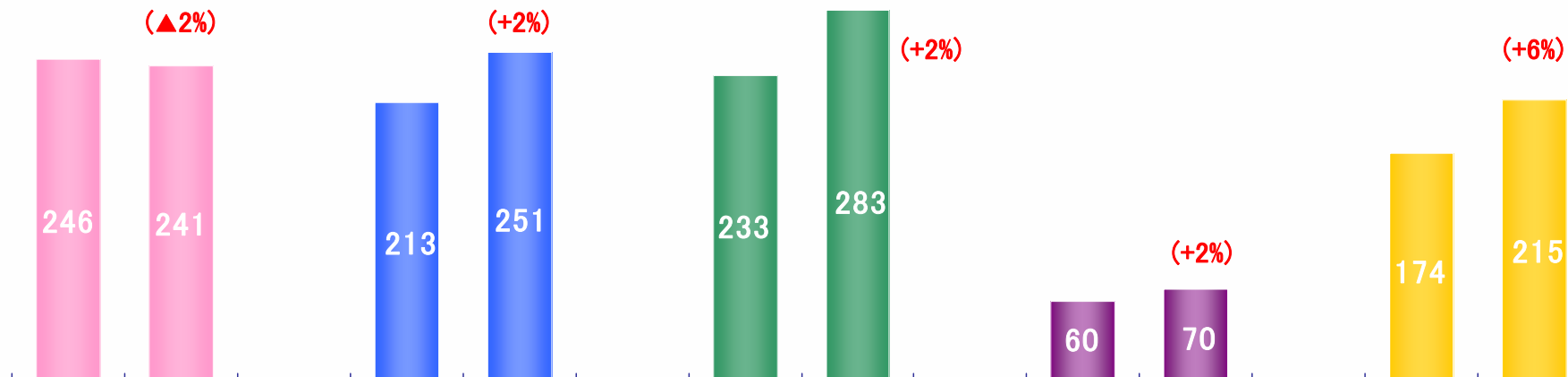
1 Q

*()内は為替を除いた
実質ベースでの前期比増減

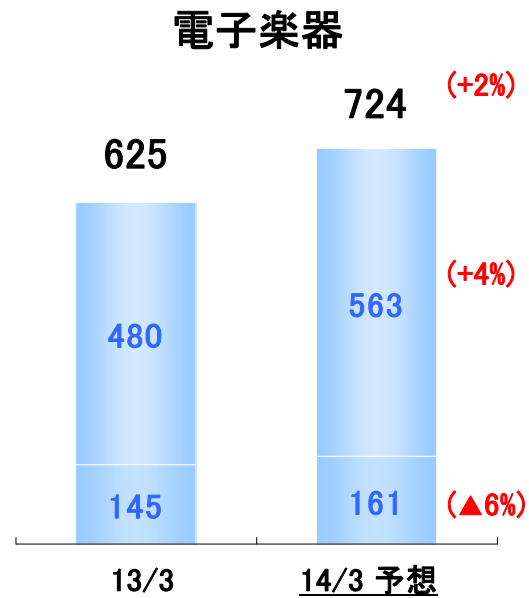
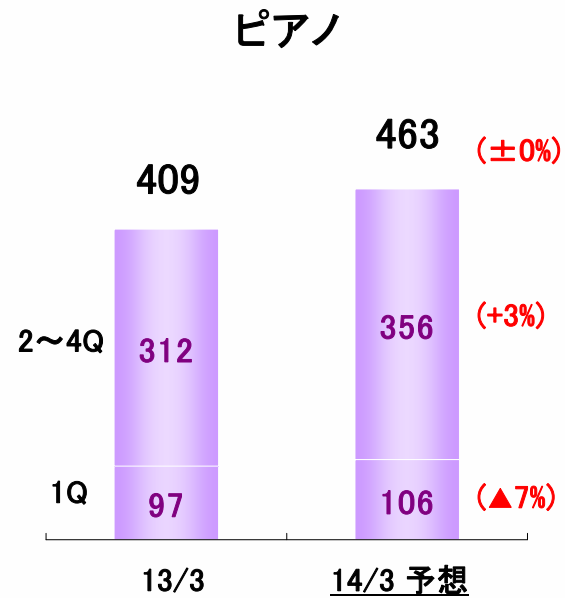
(億円)



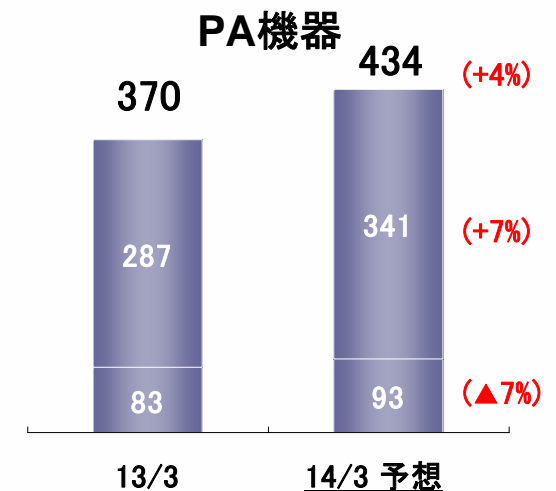
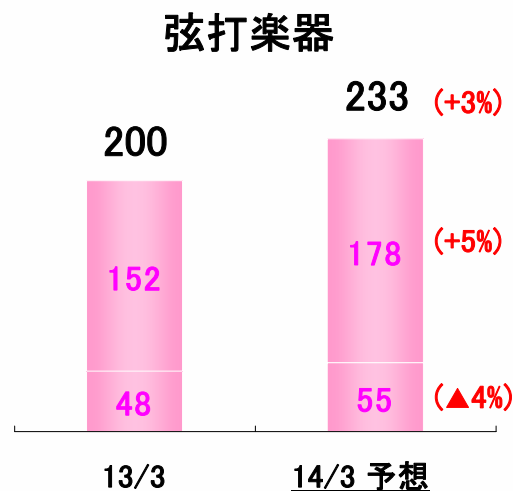
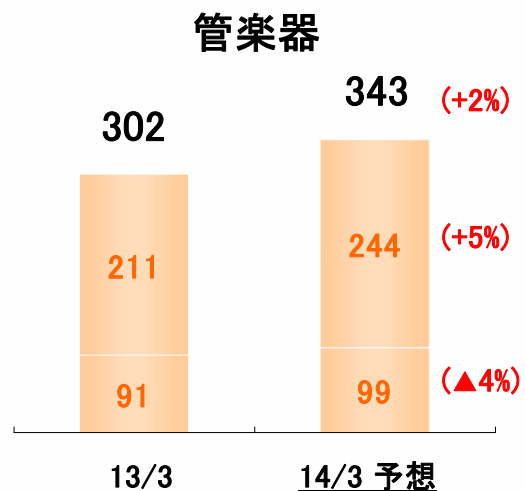
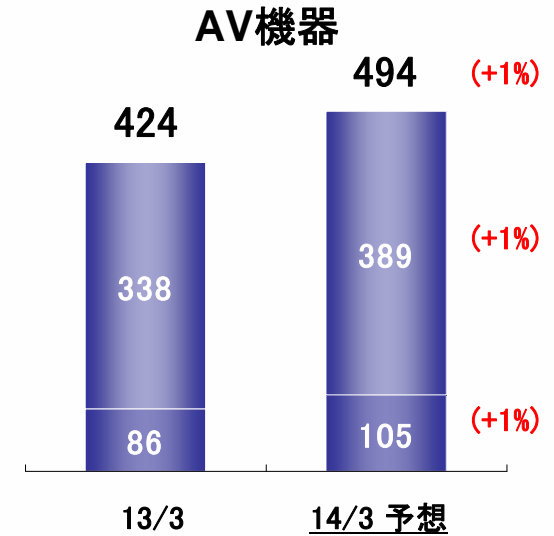
通期



楽器・音響機器事業(主要商品別販売状況)



*()内は為替を除いた
実質ベースでの前期比増減 (億円)



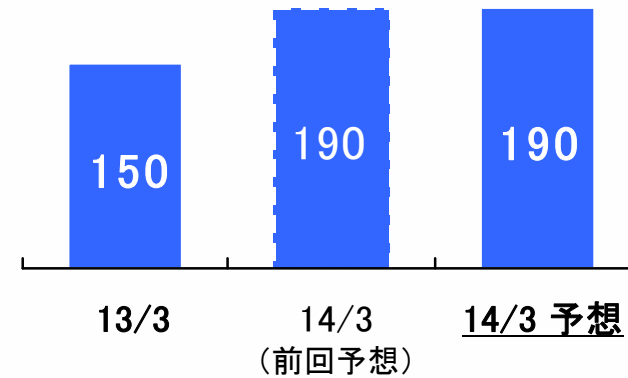
電子部品事業（予想）

通期予想

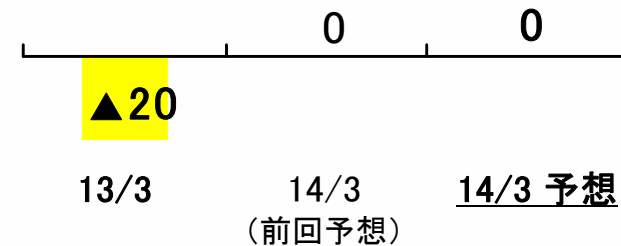
- ・対前期増収、黒字化を目指す
- ・生產品目の外部委託化推進
- ・地磁気センサー向け投資設備の稼働開始でコストダウン強化

売上高

(億円)



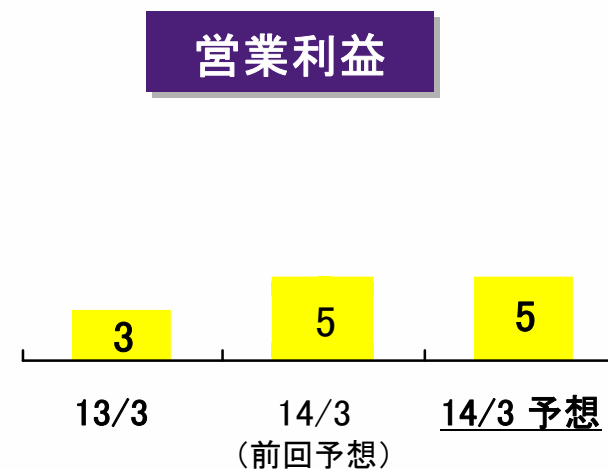
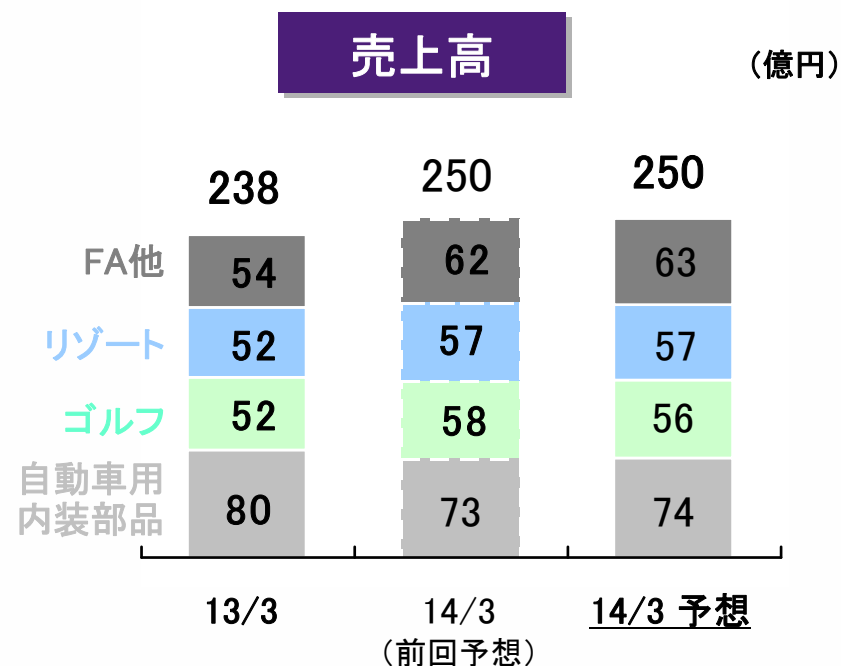
営業損益



その他の事業（予想）

通期予想

- ・対前期増収増益
- ・FA機器の海外市場向け期待
- ・ゴルフは海外市場が回復基調
- ・リゾートは集客企画強化などで増収

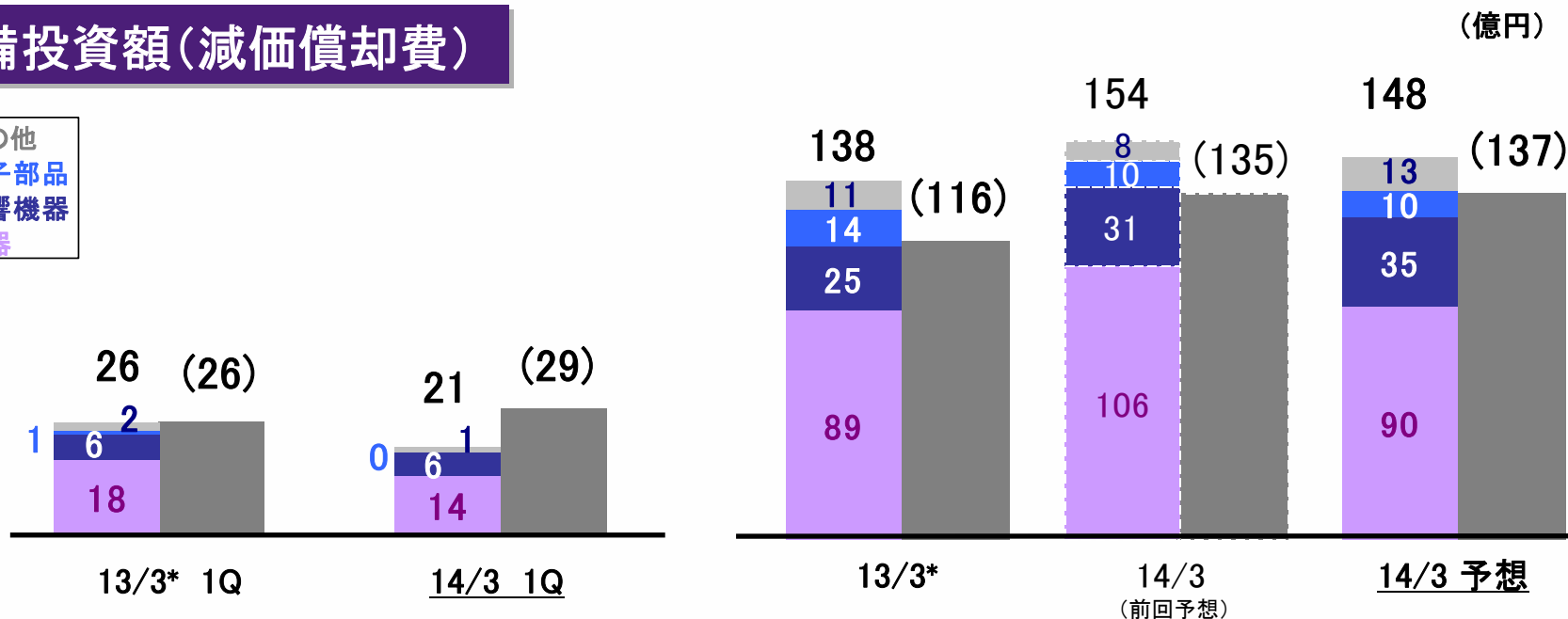


設備投資額・減価償却費/研究開発費

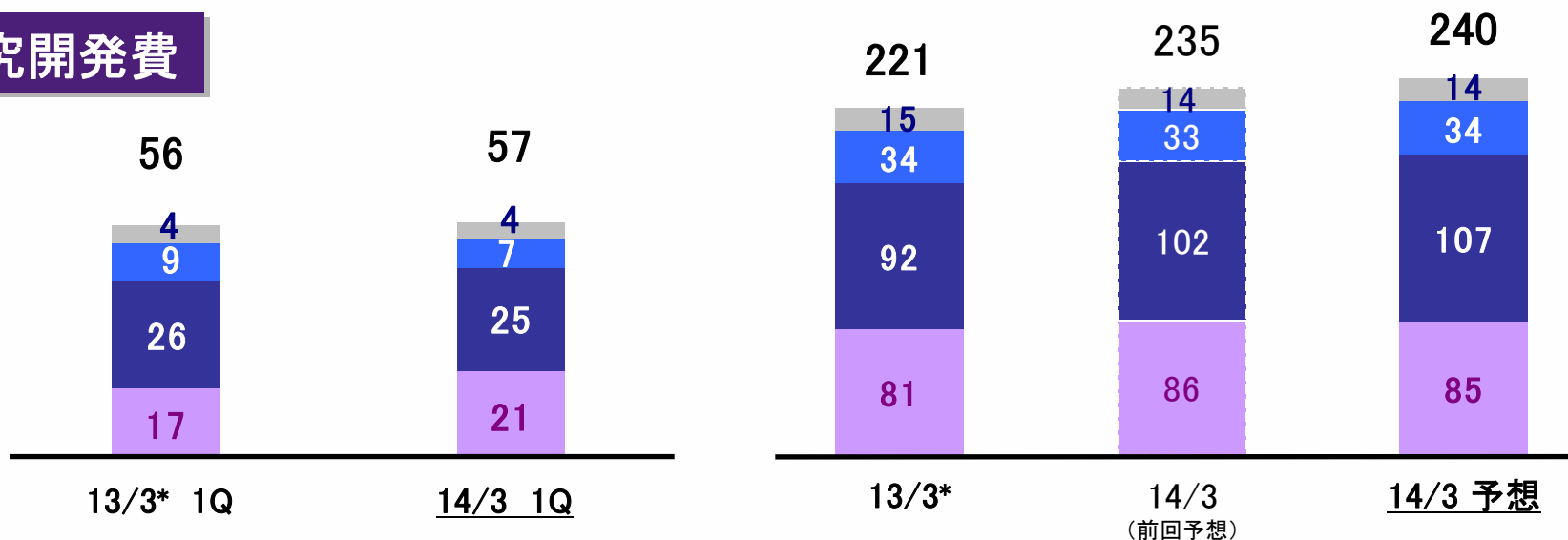


設備投資額(減価償却費)

- その他
- 電子部品
- 音響機器
- 楽器

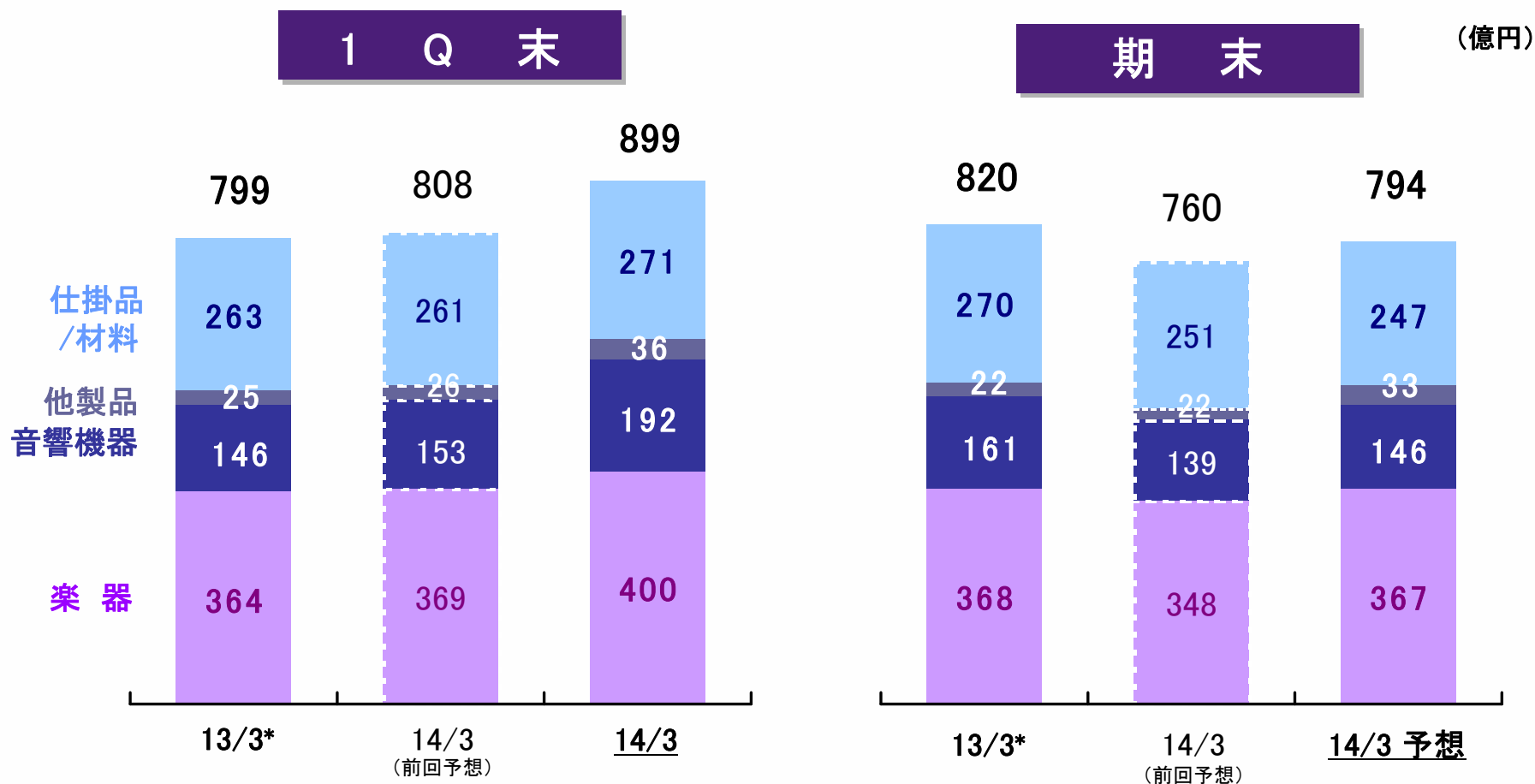


研究開発費



棚卸資産

- 1Q末総在庫は対前年同期100億円の増加
(為替影響+131億円を除けば実質31億円の減少)
- 14/3末予想は794億円(為替影響 対前期 +10億円 対前回予想 +52億円)



貸借対照表

(億円)

	1Q末			期末予想		
	12/6末	13/6末	増減	13/3末	14/3末	増減
現預金	482	521	40	514	607	93
売上債権	449	523	74	510	554	44
棚卸資産	799	899	100	820	794	▲26
他流動資産	106	130	25	135	118	▲17
固定資産	1,605	1,946	341	1,927	1,951	24
資産計	3,441	4,021	580	3,906	4,024	118
仕入債務	230	229	▲1	203	200	▲3
借入金	128	137	8	100	71	▲29
リゾート預託金	154	154	0	154	154	0
他負債	1,002	1,131	129	1,153	1,152	▲1
純資産計	1,927	2,370	444	2,296	2,447	151
負債純資産計	3,441	4,021	580	3,906	4,024	118

※年金未認識債務については1Q末にてオンバランス済み

付属資料

2014/3期 1Q営業外損益、特別損益



(億円)	13/3 1Q	14/3 1Q前回予想	14/3 1Q
営業外損益			
金融収支	3	2	4
その他	▲8	▲7	▲3
計	▲5	▲5	1
特別損益			
固定資産処分損益	0	0	0
その他	▲1	0	10
計	▲1	0	10
法人税他			
法人税等	10	4	15
法人税等調整額	0	0	▲1
少数株主利益	1	1	1
計	11	5	15

投資有価証券
売却益 10

2014/3期 通期営業外損益、特別損益

(億円)	13/3 通期	14/3 通期前回予想	14/3 通期予想
営業外損益			
金融収支	11	10	11
その他	▲17	▲25	▲26
計	▲6	▲15	▲15
特別損益			
固定資産処分損益	16	▲1	▲3
その他	▲24	1	13
計	▲8	0	10
法人税他			
法人税等	37	36	41
法人税等調整額	▲2	▲8	▲11
少数株主利益	2	2	0
計	37	30	30

構造改革費用
▲31

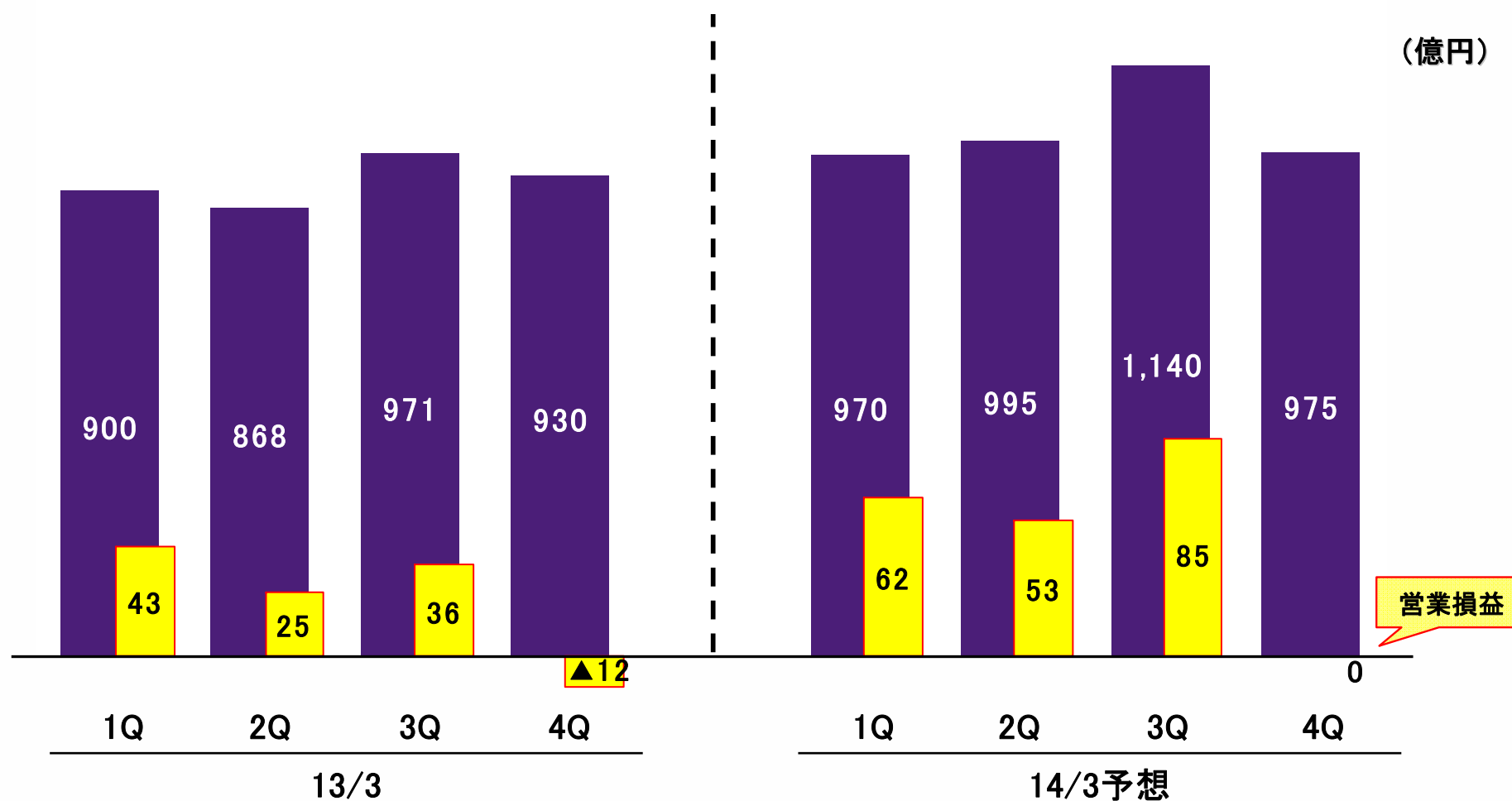
投資有価証券
売却益 10

楽器・音響機器事業(地域別の販売状況)



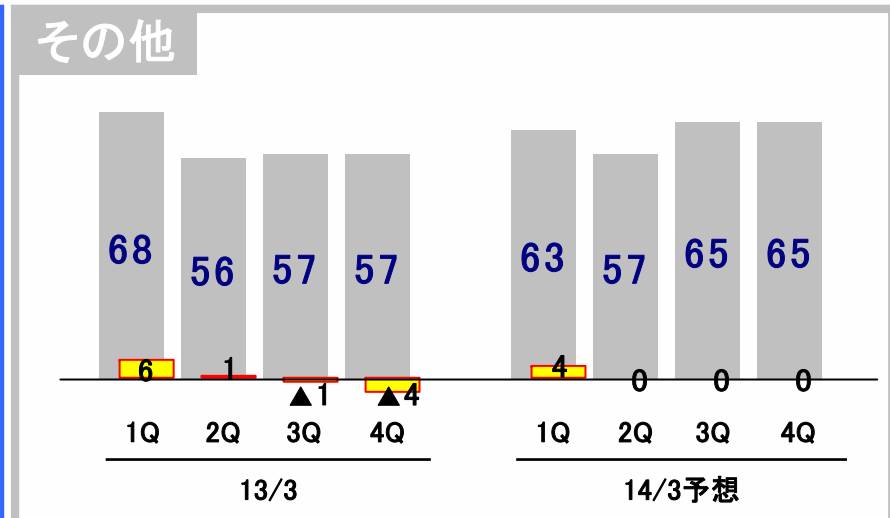
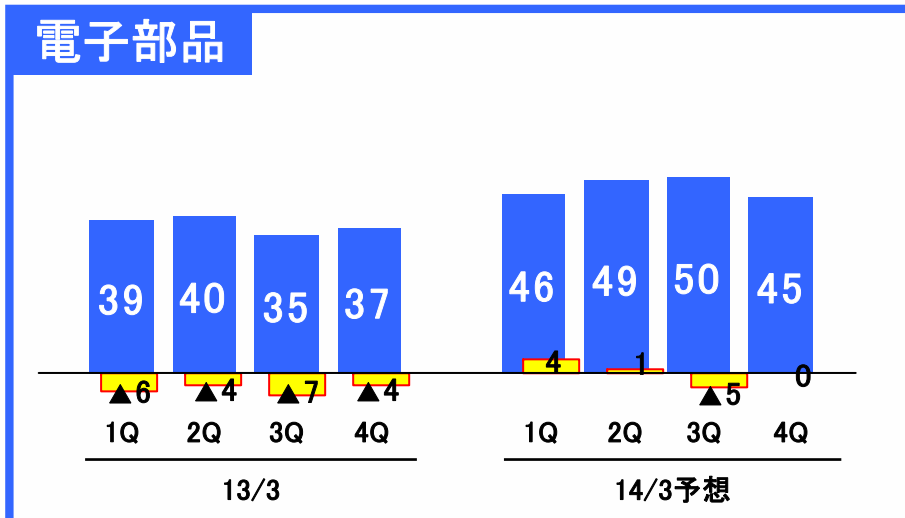
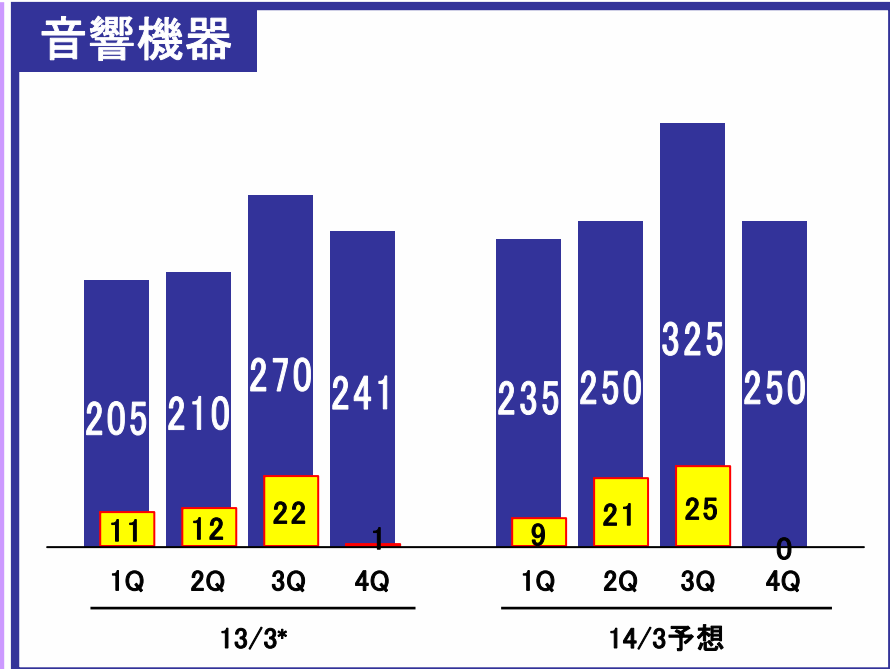
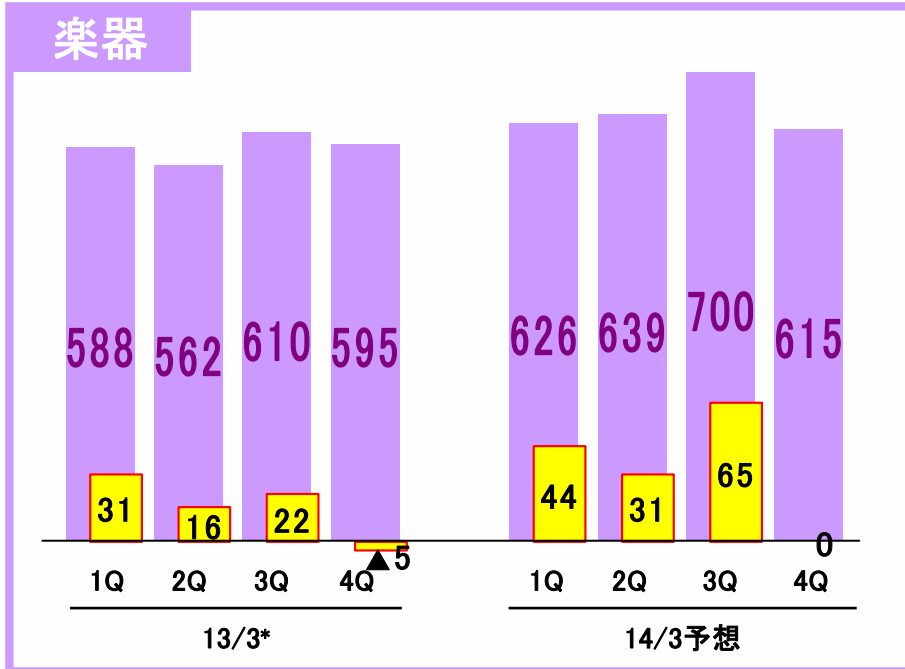
楽器・音響機器 地域別状況	
日本	楽器・音響ビジネスは市況回復の足取りが重く苦戦。ピアノ・エレキは対前年実績未達、ハイブリッドピアノはNU1中心に好調持続、デジタルピアノは対前年実績並み。管楽器は高級品個人持ちは復調だが、新シリーズ普及品が伸悩みで前年割れ。ギターはアコースティック、ドラムは電子ドラムが堅調に推移。PA機器は設備用音響機器需要が冷込み、さらに先期からの注残物件減もあり厳しい状況。AV機器はTV回りの市場縮退が依然続き、さらに競合の激化もあり、家電量販で苦戦で前年割れ。
北米	アメリカは楽器・音響ビジネスは前年同期比でほぼ横ばい、カナダは緩やかな景気回復傾向で、楽器・音響ビジネスも期初から堅調に推移し前年を上回る。ピアノはインドネシア製モデルが貢献。電子楽器は注残解消が進んだが前年実績には若干未達。管楽器はレンタル向け先付受注を先期末売上済の反動で期待値には届かなかったが、入札ビジネスが堅調で前年同期並みで推移。ギターはアコースティック普及価格帯の出荷本数増で好調。PA機器は設備用機器が堅調で前年同期上回る。一方、シンセ、電子ドラムは新商品投入も流通在庫重く苦戦。AV機器ではSound Barカテゴリーが前年割れで減速。
欧州	昨年迄は独を中心とした中欧が欧州市場全体を牽引も、昨年末の需要期以降苦戦が続く。今期に入っても小売回復の兆し見られず、ディーラー在庫も拡大傾向。4月実施の楽器トレードショーでの受注は独中心に堅調だったが、小売の不振から通常オーダーが期待を大きく下回った。地域別では英・北欧で計画・前年を上回った他は殆どの地域で苦戦。特に東欧や南欧(仏・伊・西)が厳しく、前年を大きく下回る状況。商品別ではPA機器、AV機器が前年を上回り、デジタルピアノがほぼ前年並みだった以外は殆どの商品で苦戦。特にPKの中高価格帯販売が停滞。
中国	指導者交代以降の儉約令・投資抑制策の影響で経済成長鈍化傾向、楽器市場も動きが重く苦戦。小売市況の鈍化でディーラー在庫増。商品別ではピアノは春先の厳しさから回復基調にあるが1Q累計では前年届かず。デジタルピアノやギターは好調で前年上回るが、管・AV機器は小売鈍化で苦戦。また設備用音響市場も政府系投資の停滞により厳しい。
その他の地域	地域別ではインドネシア、タイ、台湾、ロシア、オーストラリア、中近東・アフリカの6販売現地法人で前年を上回る実績だが、中南米諸国が市況厳しく全体的に苦戦、シンガポール、マレーシア、韓国等も苦戦で地域全体では厳しい状況。好調な地域では、インドネシアは、ピアノ、デジタルピアノ、ギター、PA機器を中心に順調に推移、二桁成長を維持。台湾はAV機器の新規取扱で前年上回る。ロシアはピアノ、デジタルピアノ、ギター、PA機器中心に好調、二桁の伸び。同じく二桁成長のオーストラリアはピアノ、デジタルピアノが売上牽引。中近東・アフリカはシリア、エジプトでの政情不安、イランの輸入規制強化で売上に影響するも今期より南アフリカ向けで上乘せし前年超え。

四半期別売上高／営業利益(全体)



四半期別売上高／営業利益(セグメント別)

(億円)



この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。



**125 YEARS
OF PASSION &
PERFORMANCE**